



農業者年金に加入しませんか ～老後の備えは万全ですか？～

農業者の平均余命と健康寿命は、3歳ほど長いと言われています。農業者年金で老後に備えましょう。

■加入資格

- ①年間60日以上農業に従事していること
- ②国民年金の第1号被保険者
(保険料納付免除者は除く)
- ③60歳未満の人

■農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金
- 農業者年金は終身受給
- 支払った保険料は全額社会保険料控除
- 保険料補助(政策支援加入)あり

お問い合わせ

市農業委員会(電話33-1503) JA紀北かわかみ本店総務課(電話42-5172)

農家訪問

橋本市北馬場の田中公二さん一家は果樹を中心とした専業農家です。特に桃の生産に力を入れており、ネクタリン、はなよめ、日川白鳳、八幡白鳳、白鳳、清水白桃、川中島白桃、つきあかり、つきかがみ等たくさん品種の生産に取り組まれています。また、桃以外にも、すもも、梨、柿、みかんの生産も手がけるなど、一年を通して様々な果樹を生産しています。

「やっちゃん広場では近年桃の売り上げが伸びているので、自身は今後も桃の生産に取り組んでいきたい。しかし、農地の有効活用および農業収入の増加への取り組みの一環としては、水稲と耕作時期が重ならず作付けできる「うすいえんどう」を市内農業者の方々に勧めたい。うすいえんどうはキロ単価も高く収入増に結びつき、また、耕作放棄地を利用して作付けすれば耕作放棄地問題の解消の一助になるのでは。」と語ってくださいました。

—果樹栽培の田中里美さん—



お孫さんと桃を収穫する里美さん



【編集委員】

- ・委員長 土井清美
- ・副委員長 池田泰子
- ・委員 芋生孝治 平田秀規
中山光弘 林 義文

編集後記 楽しいことがあり「まっせ、の『まっせ・はしもと』が、内容もさらに充実して今年も催されます。しかも今年は11月19日、20日と2日間にわたって、橋本市運動公園・県立体育館での開催です。

橋本市農業委員会も市内農林業者、商工業者と並んで出展しますので、ぜひ、ご近所お問い合わせの上、橋本の秋まつり、まっせ・はしもとにご来場ください。



橋本市 農業委員会だより



(写真:シンガーソングライター/富貴・筒香田んぼつくりタイ副会長 Choji氏とともに児童との棚田コンサート)
※橋本市柱本芋谷地区において

第3回 わかやまの棚田・段々畑サミット

棚田・段々畑サミットの開催に合わせ、休耕地に地元と柱本小学校児童(5年生)が「ひまわり」を植栽しておりました。現地見学会・棚田コンサートには、約360名の方が県内外から来られました。

主な内容

- 近畿農政局長賞受賞報告 …… 2ページ
- 農地の調査について …… 3ページ
- 農家訪問 …… 4ページ

橋本市農業委員会
橋本市東家一丁目1番1号
Tel.0736-33-1503

会長あいさつ



橋本市農業委員会会長
芋生 孝治

9月の2日、3日に第3回わかやまの棚田・段々畑サミットが橋本市にて開催されました。平成26年度に棚田・段々畑として認定を受けた柱本芋谷の柱本田園自然環境保全会を中心にして2日にはパネルディスカッションと交流会が実施され、「棚田がつなぐ村人と街人～ともに守る」として都市との交流を中心に、4つの地区で活動している各団体代表による発表が行なわれました。3日には芋谷地区の方々に守られている稲の刈り取りも始まっていた147枚の田や畑を見学し、コンサートも開催されました。

細長く高い畦畔に囲まれている棚田を見て、その維持管理の大変さを実感して、橋本市の農業の縮図を見る想いになり、TPPに直面している農業の将来に想いを馳せた一日でした。

今年は暑い日々が続き、雨が欲しいと思っていましたが、台風が相次いで来襲して大雨とともに各地に大きな被害が出ています。以前でしたら大きく報道されていた水稻の被害状況がテレビ等に報道されていません。米の重要性が薄れてきていることを実感しています。



橋本市柱本芋谷地区(棚田風景)

橋本市農業委員会 池田泰子委員が 近畿農政局男女共同参画優良事例表彰を受賞されました

近畿農政局が平成16年度より農山漁村における男女共同参画の実現を目指して推進している、『近畿農政局男女共同参画優良事例表彰』におきまして、橋本市農業委員会 池田泰子委員が、社会参画部門の「近畿農政局長賞」を受賞されました。

これは、橋本市農業委員会唯一の女性農業委員として、地域農業の振興に対し長年にわたり貢献されたことが認められたものです。



視察研修を行ないました

橋本市農業委員会では、本市農業発展の参考となる先進的取り組みについて、その知識・ノウハウ等を獲得するため、毎年果樹・畜産、水稻・野菜の各専門部会合同で視察研修を行なっています。

今年は奈良県の宇陀市薬草協議会と大和農園を視察し、宇陀市薬草協議会では6次産業化をも視野に入れた、漢方薬の原料となる薬草の栽培についての取り組みを、大和農園では多品種に及ぶ野菜の育種研究開発と種子生産についての取り組みを学びました。

今後、橋本市においても本視察研修にて学んだことを活かしていければと考えています。

8月中旬から農地利用状況調査を実施しています

橋本市農業委員会では、毎年、市内のすべての農地の利用状況を調査しており、本年は8月中旬から実施しています。この調査結果をもとに11月から休耕地や耕作放棄地を中心に、今後の農地の利用意向を確認する農地利用意向調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

貸したいという意向の農地については、橋本市農業委員会までご相談ください。

なお、全国農地ナビ(インターネットで農地情報を公開)でもお知らせする予定です。



認定農業者になりませんか ~市の認定を受けて、担い手農家を支援~

農業経営の規模拡大や生産方式の合理化など農業経営の改善に取り組む農業者が、農業経営改善計画を作成し、市町村の認定を受けて地域の担い手農家を関係機関・団体が支援する制度です。

現在、市内では41人が認定農業者に認定されています。

- ・農業近代化資金や農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)などの低利資金の利用
- ・農業経営基盤強化準備金制度による、税制の特例措置
- ・農業者年金の保険料の国庫補助(2~5割)など



お問い合わせ
市農林振興課(内線6101)まで